

経営工学系 経営工学コース（修士課程）

アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

経営工学系では、次のような人材を求めます。

- ・経営工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- ・経営工学を主とする工学ならびに人文社会科学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、他者と意思疎通をできるコミュニケーション力を備えた人
- ・豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- ・国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- ・経営工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

経営工学系の専門に関する学力、英語による語学力、適性などについて、面接形式の試問、筆答試験などにより、経営工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

経営工学系 経営工学コース（修士課程）

カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本コースでは、「ディグリー・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

A) 経営工学・経済学分野の専門基礎学習

数理・情報・工学技術を自由に駆使できるようになるために、大学院レベルの経営工学・経済学分野の専門基礎知識の学修を行う。

B) 経営工学・経済学の応用学習

経営活動と経済問題を理解するための知識と経営工学・経済学的視点の学修を行う。

C) 広い視野を養い、主体的に進める学修

先端的な理論や技法を学ぶとともに観察、モデル化、実験などの演習やグループワークなどの創造的教育を通じて、技術や組織に対する洞察力を高め、解決に値する問題を主体的に発見・解析・解決する能力と、問題を構造化・モデル化する概念的な能力を修得する。

D) 社会との関わりを追体験する学習

社会で活躍する講師陣らによる、専門科目を通しての追体験学習や技術者倫理の学修

E) コミュニケーション能力の強化学習

修士論文研究への取り組みを通じて、新たな問題・課題に対して研究を遂行する能力と、輪講・講究等を通じた日本語および英語による説明能力、文書化・情報伝達能力の養成学修

ディグリー・ポリシー（修得する力）

経営工学コースでは、次のような力を修得することができる。

- ・数理・情報・工学技術を自由に駆使できる基礎知識
- ・経営活動と経済問題を理解するための知識と経営工学・経済学的視点
- ・技術や組織に対する洞察力を高め、解決に値する問題を発見・解析・解決する能力
- ・問題を構造化・モデル化する概念的な能力
- ・日本語および英語による説明能力、文書化・情報伝達能力
- ・新たな問題・課題に対して研究を遂行する能力